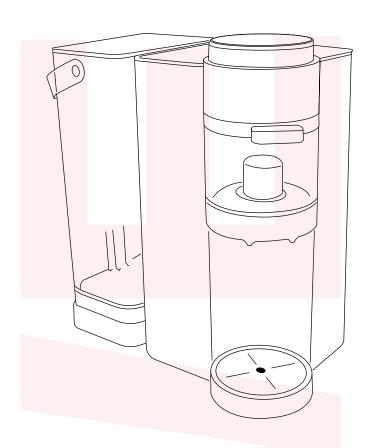
THANKO 型番:S-CTW21W

取扱説明書

version1.0 y



安全上のご注意 ・・・・・・・・・2・3
内容品・各部なまえ・・・・・・・・ 4
操作パネル ・・・・・・・・・・ 5
設置方法・・・・・・・・・・・・・・6
アース・電源の接続・・・・・・・・ 7
ご使用まえに ・・・・・・・・・8・9
オートモードで抽出す <mark>る・・・・・・・ 1</mark> 0~12
茶葉の2・3 杯目について・・・・・・ 13
マニュアルモードで抽出する・・・・・ 14・15
お湯をいれる ・・・・・・・・・16
お手入れ方法・・・・・・・・・・・17
故障かなと思ったら・・・・・・・・・18
アフターサービスについて・・・・・・ 18
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・19

保証期間:購入日より 12ヶ月

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前に この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。 お読みになった後は、お手元に置いて保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを 説明しています。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

●表示の説明

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う 可能性が想定される内容です。

注意 取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物 的損害が発生することが想定される内容です。

お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。





禁止(してはいけない内容) を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)

- ・火災、感電、怪我などの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・他の人に貸しだす場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

∧ 警告



改造や分解をしない。修理技術者以外 の人は分解したり、修理をしない。

火災・感電・怪我の原因。

故障の際は弊社サポートまでご相談ください。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届 くところで使わない。

火災・感電・故障の原因。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセ ントから抜いておこなう。

感電・発火・故障の原因。



電源プラグは根本まで確実に差し込む。

感電・発火・故障の原因。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に 付着したほこりはふき取る。

火災・感電の原因。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをし ない。

感電のおそれ。



電源プラグ・電源プレート接続部(金 属部)にピンなどの金属片、ゴミなど を付着させない。

感電・ショート・発火の原因。



交流 100V 以外では使用しない。

火災・感電・故障の原因。



本体や電源プレートを水につけたり、水 に濡らしたりしない。

ショート・感電・故障の原因。



電源コードが傷んでいたり、コンセント の差し込みが緩いときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使 用を中止する。

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・ 感電・漏電・ショート・怪我などの原因。

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、 変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭 いにおいがする
- ・本体が動作しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラ グをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店また はサポートセンターまでご連絡ください。



電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工 したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじっ たり、束ねて使用しないでください。また重い 物を載せて使用しないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因。



定格 15A 以上のコンセントを単独で使 う。

感電・ショート・発煙・発火の原因。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告



ヒビ、欠け、強いすり傷が入ったもの は絶対に使用しない。

破損・火災の原因。



壁や家具<mark>の近くで</mark>使わない。

蒸気や熱で壁や家具を傷め、変形・変色の原因。



最大目盛以上の水は入れない。

火傷・事故の原因。



注ぎ口に手を触れたり、顔を近づけたり しない。

火傷・怪我の原因。特に小さなお子様や乳幼児には触らせないように注意してください。



熱に弱いテーブルクロスや敷物などの上で使わない。

設置場所が焦げたり、火災の原因。



ウォータータンクに水以外のものを入れない。

故障の原因。



使用中に移動させない。

水漏れ・故障の原因。



本体やタンクの上に物を置かない。

故障・破損のおそれ。



熱湯に注意する。

火災・怪我の原因。



不安定な場所で使用しない。

感電・怪我・火傷のおそれ。



使用中や使用後しばらくは、高温部に触 れない。

やけどのおそれ。



ティーサーバーを外すときに出る蒸気や 露に触れない。

やけどのおそれ。



専用の電源コード以外は使わない。

故障・発火の原因。



直射日光のあたる場所、屋外、ほこりっぽい場所などに設置しない。

故障の原因。



気温が氷点下になる場所や熱源の近くに 設置しない。

変形・故障の原因。



電源コードを抜くときはコード部分を 引っ張らない。必ず先端のプラグ部分 をもって引き抜く。

感電・ショート・発火の原因。



お手入れは冷えてからおこなう。

火傷のおそれ。



空だきをしない。

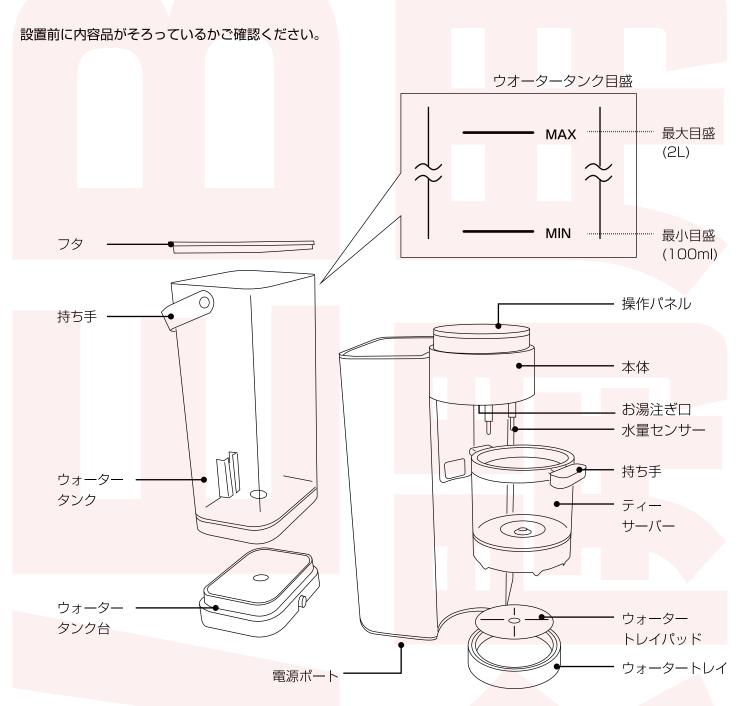
変色・故障の原因。



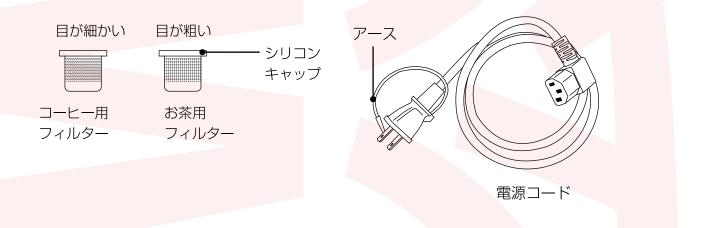
使用時以外は差込プラグをコンセントから抜く。

感電・ショート・発火の原因。

内容品・各部なまえ



※ウォータートレイパッドには保護シールが貼られています。 シールを剥がしてご使用ください。



操作パネル

操作パネルには傷防止のため、保護シールがついていますので、外してご使用ください。



タッチパネルの操作について

次の場合はキーが反応しないことがあります。

- ・タッチする間隔が短い。
- ・指やキーがぬれている、汚れている
- ・周囲の温度、湿度、お使いいただく方の体調、近くの電気製品の動作状態により、反応が変わる場合があります。

キーは強く押したりせず、指の腹で軽くタッチしてください。

アイコン表示について

Ø	6	22	A	М
水が 足りません	ロック	お湯 排出中	オートモード	マニュアルモード

ロックについて

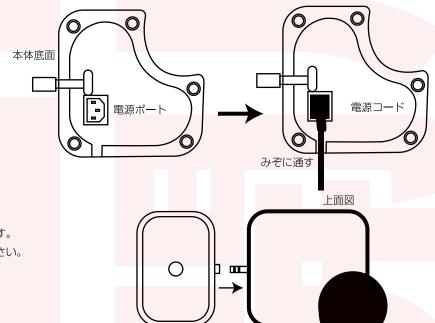
操作がない状態で5分経過すると、自動的にロック状態になります。ロック状態になるとキーの操作ができなくなります。 オートモード、マニュアルモードで抽出後は5分でロック状態になります。

ロックを解除するには【ロック/オート・マニュアル切替キー】を軽く2回連続で押します。

設置方法

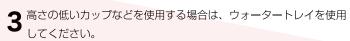


- ・かならず水平で安定した場所に設置して使用してください。
- ・熱に弱い敷物の上などに置かないでください。
- ・周りに熱湯が飛び散る可能性があります。本製品使用中は周囲に熱に弱い物を置かないように してください。
- ・使用中は絶対に小さなお子様に触らせたり、近くで使用しないでください。
- 本体底面の電源ポートに電源コードを差し込みます。 横の凹に電源コードをはめ込みます。

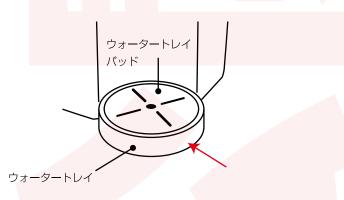


タンク台

2 本体を起こし、ウォータータンク台を取り付けます。 本体のホースにしっかりと奥まで差し込んでください。

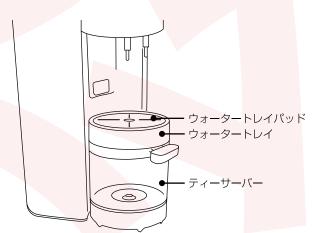


ウォータートレイの上にウォータートレイパッドをはめ込み、本体 の凹みにピッタリと合わせて置きます。



本体

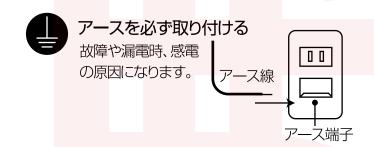
4 熱湯を注ぐ際、背の低いカップを使用する場合は、ティーサーバー の上にウォータートレイをセットして、台を高くすることができます。



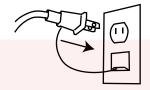
設置方法

アース・電源の接続

アースの先端を確実にアース端子に接続してください。接地抵抗地 100Ω以下であることを確認してください。



2 電源プラグをコンセント(AC100V、15A 以上)にしっかりと差し込んでください。



△注意

・コンセントにアース端子がない場合、必ず電気設備技術基準に基づく電気工事士によるD種接地工事をしてください。詳しくはお買い上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。

工事の際は、工事費用が別途必要です。

・電源回路には漏電ブレーカーが必要です。

法令で定められています。

・ガス管、水道管、電話、避雷針のアース回路、漏電ブレーカーなど他の製品のアース回路には接続しないでください。 法令で禁止されています。

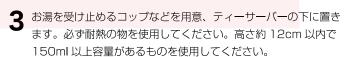
で使用まえに

◆最初に使用する時・使用間隔が3日以上開いている場合におこなってください

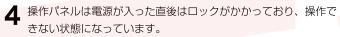


2 ティーサーバーを本体にセットします。本体の凹みに差し込んで 固定します。

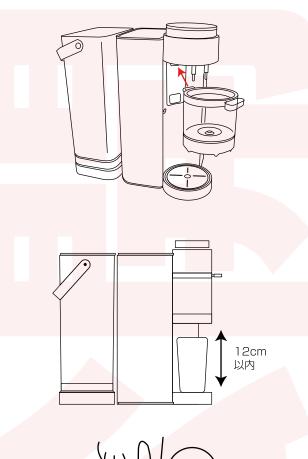
【アース・電源の接続】を参照に、電源プラグをコンセントに接続してください。ピッと音が鳴り、操作パネルが表示されます。(ロック状態)



※高さが低いカップなどを使用した場合、お湯が飛び散る可能性 がありますのでご注意ください。



ロックキーを 2 回ポンポンとすばやくタッチすると、ロックが解除されます。





で使用まえに

5 ファンクションキーをタッチします。 ディスプレイの表示を【90℃】になるようにファンクションキー を押してください。

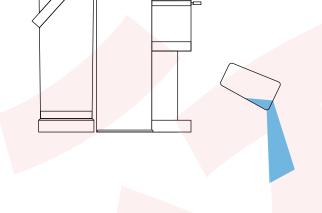


6 オート/お湯キーをタッチします。 温度と、操作パネル周りの LED ランプが点滅し、お湯が排出されます。

↑ 熱湯がでますので、やけどにご注意ください。



7 お湯が止まったら、コップのお湯を捨ててください。 ※コップが熱くなっていますので、ご注意ください。



8 ④~⑦の動作を2、3回繰り返してください。 以上でテスト排水は終了です。 長期間使用していない時などには、テスト排水を行ってください。

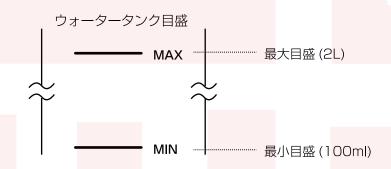
オートモードで抽出する

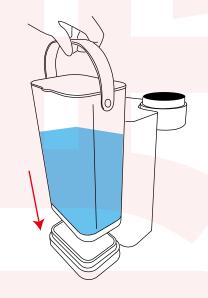
コーヒー・紅茶・緑茶・玉露をあらかじめ最適にプログラムされた状態でいれることができます。 自動的にお湯を注ぐ→蒸らす(抽出)→注ぐをおこないます。

1 ウォータータンクに水を入れ、ウォータータンク台にセットします。タンクの目盛の MIN から MAX の間の水量を入れてください。

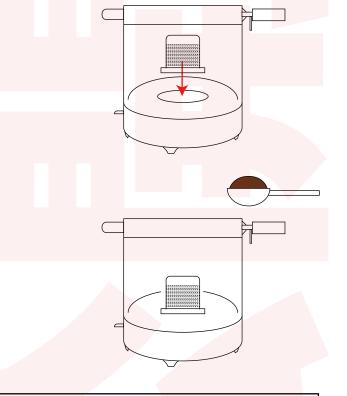
※1 杯あたり約 150ml となります。入れる量よりも多少多めに水をいれてください。いれている途中で水がなくなると、途中で稼働が停止します。

※水道水・ミネラルウォーターどちらでもご使用いただけます。





2 コーヒーを入れる場合はコーヒー用フィルターを、紅茶や緑茶を入れる場合はお茶用フィルターをティーサーバーの中心にセットします。シリコンをしっかりと中央凹みにはめこんでください。



3 コーヒー粉、または茶葉をティーサーバーに入れます。 本製品は 1 回で 1 杯分(約 150ml)をつくることができます。 1 杯分の量を入れてください。

コーヒー粉の目安

一般的なコーヒーの計量スプーンはすり切りで 1 杯 8 ~ 12g になります。

計量スプーン 1 杯分をティーサーバーに入れて下さい。 ※コーヒー粉の量はお好みによって加減してください。 ※2 杯以上入れないでください。抽出時にあふれる可能性があります。

※普通〜濃いめが好きな方は深入り / 細挽きの粉をご使用ください。

※薄目~普通が好きな方は深入り / 中挽きの粉をご使用ください。

茶葉の目安

紅茶…ティースプーン 1 杯 (約 2 ~ 3g)

緑茶…大さじ1杯(約3~5g)

玉露…ティースプーン4杯(約8g)

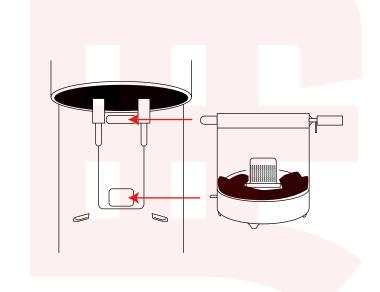
※茶葉はお好みによって加減してください。

※茶葉は種類などにより重さが多少異なります。

※15g以上入れないでください。抽出時にあふれる可能性があります。

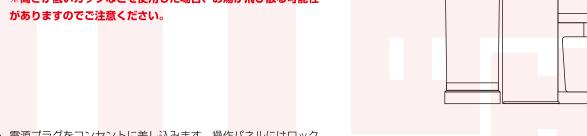
オートモードで抽出する

4 本体にティーサーバーを取り付けます。



5 お湯を受け止めるコップなどを用意、ティーサーバーの下に置き ます。必ず耐熱の物を使用してください。高さ約 12cm 以内で 150ml 以上容量があるものを使用してください。

※高さが低いカップなどを使用した場合、お湯が飛び散る可能性 がありますのでご注意ください。



電源プラグをコンセントに差し込みます。操作パネルにはロック がかかっているので、ロックキーを2回ポンポンとタッチすると、 ロックが解除されます。

オートモードの場合、ディスプレイに【A】と表示されます。 【M】となっている場合は、ロックキーを5秒ほどタッチし続け てください。オートモード【A】に変わります。



ファンクションキーをタッチして、メニューを選びます。タッチする毎に ディスプレイ下部の表示がコーヒー→紅茶→緑茶→玉露→コーヒー…と変 わり、あらかじめプログラムされているお湯の温度と蒸らし時間が表示さ れます。

メニュー	蒸らし時間(秒)	お湯温度(℃)
コーヒー	300	100
紅茶	180	80
緑茶	90	90
玉露 60		60



<mark>お湯の温度設定により抽出しま</mark>すが、環境温度により実際に抽 出された温度が設定温度と異なる場合があります。

オートモードで抽出する

8 蒸らし時間はお好みで変更することができます。アップキーもしくはダウンキーをタッチして秒数を変更してください。 5 秒単位で 15 ~ 300 秒まで設定することができます。

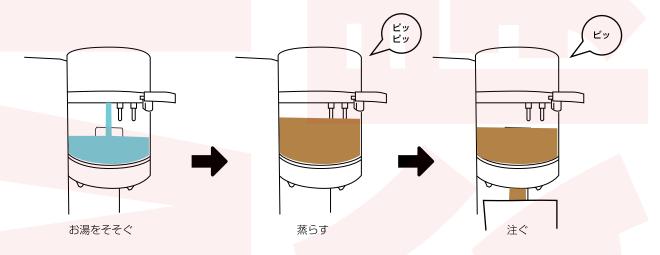


9 オート/お湯キーをタッチすると抽出を開始します。



10 湯をティーサーバーに入れる→蒸らす→コップに注ぐを自動でおこないます。

※水の量が足りない場合、途中で停止しますので、必ずウォータータンクの目盛 MIN 以上水を入れてください。



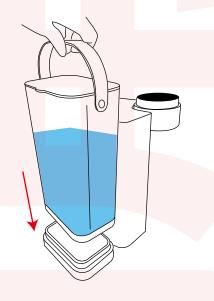
11 操作パネルまわりの LED ランプが点滅から点灯に変わると、注<mark>ぎが終了です。カップを</mark>外してください。



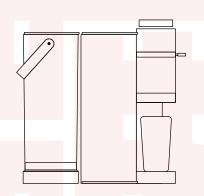
茶葉の2・3杯目について

紅茶・緑茶・玉露で続けて2杯目、3杯目を入れる場合、自動的に蒸らし時間が変わります。 ※コーヒーには2・3杯目の設定はありません。

 続けて2杯目・3 杯目を入れる場合、必ずウォータータンクに分量の水を入れてください。途中で水がなくなると自動的に停止します。



2 【オートモードで抽出する】の手順にそって 1 杯目をカップに注いた後、新しいカップを用意します。



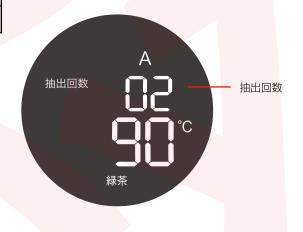
3 オート/お湯キーをタッチすると、お湯を入れる→蒸らす→注ぐを 行います。1 杯目とは蒸らし時間が自動的に変わります。 ※茶葉が開いた状態のため、蒸らし時間が短くセットされています。

蒸らし時間設定

メニュー	1回目(秒)	2回目(秒)	3回目(秒)
紅茶	180	90	60
緑茶	90	20	20
玉露	60	30	30

ディスプレイに抽出回数が表示されます。3回目以降は蒸らし時間はかわりません。3回目と同じになります。





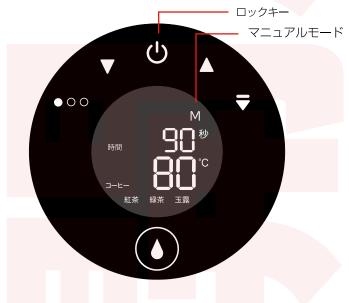
マニュアルモードで抽出する

お好みの温度・蒸らし時間でいれることができます。

- P.10 【オートモードで抽出する】の手順5までを行います。
- **2** 電源プラグをコンセントに差し込みます。操作パネルにはロックがかかっているので、ロックキーを2回ポンポンとタッチすると、ロックが解除されます。



マニュアルモードに切り替えます。電源プラグを差した初期状態はオートモードが選択されています。※ディスプレイに【A】と表示ロックキーを5秒ほどタッチし続けてください。マニュアルモード



4 アップ / ダウンキーで蒸らし時間(秒)を設定します。 5 秒単位で 15 ~ 300 秒まで設定が可能です。 ファンクションキーでお湯の温度(100/80/90/60℃)を設定します。

⚠

【M】に変わります。

お湯の温度設定により抽出しますが、環境温度により実際に抽出された温度が設定温度と異なる場合があります。

5 オート/お湯キーをタッチすると抽出を開始します。



マニュアルモードで抽出する

7 蒸らし時間がすぎると「ピッ」と音がなりますので、注ぐキーをタッチしてください。カップに注がれます。マニュアルモードでは自動でカップに注がれません。注ぐキーを押す必要がありますのでご注意ください。



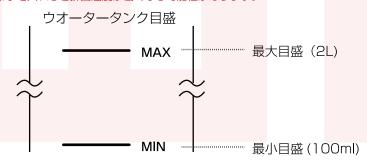
お湯を入れる

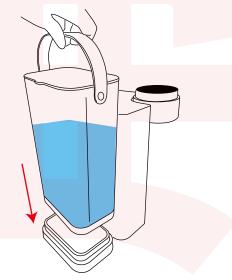
お好みの温度のお湯を設定した量入れることができます。

1 ウォータータンクに水を入れ、ウォータータンク台にセットします。タンクの目盛の MIN から MAX の間の水量を入れてください。

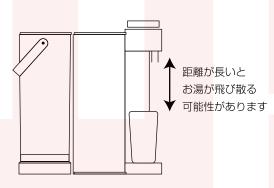
※水道水・ミネラルウォーターどちらでもご使用いただけます。

※冷水を入れると排出温度が低くなる可能性があります。





2 お湯を入れる容器を用意します。お湯の注ぎ口から容器までの距離が 長い場合、注いているときにお湯が周囲に飛び散る可能性があります。 その場合は、ティーサーバーの上にウォータートレイをセットして台 を高くする、もしくは背の高い容器を用意してください。



3 電源プラグをコンセントに差し込みます。操作パネルにはロックがかかっているので、ロックキーを2回ポンポンとタッチすると、ロックが解除されます。

ティーサーバーがセットされていない場合、自動的にお湯モード になります。

4 アップ / ダウンキーで注ぐ量 (ml) を設定します。 50ml 単位で 150ml ~ 500ml まで設定が可能です。 ファンクションキーでお湯の温度 (--/45℃/60℃/80℃/100℃) を設定します。

※-は常温(タンク内そのままの温度)です。



お湯の温度設定により排出しますが、環境温度により実際に排出された温度が設定温度と異なる場合があります。 排出量は目安であり、実際に排出された量が設定とは異なる場合があります。料理などに使うため正確な量が必要な場合は、計量カップなどで測ってご使用ください。

5 オート/お湯キーを押すと、3 秒ほどで設定した温度のお湯が、設定した量容器に注がれます。

排出が終わると「ピッピッピッ」と音が鳴りお知らせします。



お手入れ方法



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 本体が冷めてからお手入れを行ってください。

次のものは使用しない。

ベンジン、シンナー、漂白剤、酸類、みがき粉、クレンザー、たわし、金属タワシ

ティーサーバー / ウォータートレイ / ウォータートレイパッド

使用後台所用洗剤をスポンジにつけて洗い、水でよくすすいでください。洗った後は水気をよくふき取り、十分に乾燥させてください。

使用ごとに必ずお手入れをおこなってください。

コーヒー粉のかすや茶葉が残っていると酸化して次に使う時に風味を損ねる原因になりますので、すみずみまで洗ってください。

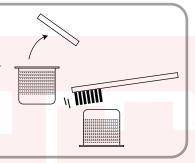


フィルター

シリコンキャップを外し、フィルターをブラシなど(金属製は使用しないでください)でこまめに洗ってください。目詰まりすると、抽出されにくくなります。しっかりとすすいだあとは水気をよくふき取り、十分に乾燥させてください。

使用ごとに必ずお手入れをおこなってください。

コーヒー粉のかすや茶葉が残っていると酸化して次に使う時に風味を損ねる原因になりますので、すみずみまで洗ってください。



ウォータータンク・フタ

残った水は必ず捨ててください。

使用後台所用洗剤をスポンジにつけて洗い、水でよくすすいでください。洗った後は水気をよくふき取り、十分に乾燥させてください。

使用ごとに必ずお手入れをおこなってください。



ウォータータンク台

中央に残った水は必ず捨ててください。

水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた布を固く絞って汚れをふき取ってください。

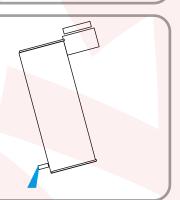
使用ごとに必ずお手入れをおこなってください。



本体

で使用後はウォータータンク台と接続するホース内に 残った水を捨ててください。

水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた布を固く絞って汚れをふき取ってください。



故障かなと思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本説明書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

症状	考えられる原因	処置	
電源が入らない	電源プラグが差し込まれていない	電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。	
ティーサーバーから水が漏 れだす	茶葉やコーヒー粉を入れすぎている	P.10の目安量を参考にして量を調整してください。15g以上入れないでください。	
ティーサーバーから液体が 落ちてこない	マニュアルモードで抽出している	マニュアルモードでコップに注ぐには抽出後に注ぐキーを押す必要があります。	
	フィルターの目が詰まっている	P.17のお手入れ方法を参考にフィルターの目の つまりを解消してください。	
ティーサーバー <mark>に液体が残</mark> る	仕様です	ディスプレイと周りの LED ランプの点滅が終わった後、ティーサーバーを外し液体を捨ててください。	
コーヒーが薄い	コーヒー粉の量が少ない	P.10 の目安量を参考に量を増やしてください。 15g 以上入れないでください。	
ディスプレイに E5 と表示 されてブザーが <mark>なる</mark>	本体の故障です	直ちに使用を止め、弊社サポートセンターまでご 連絡ください。	

アフターサービスについて

修理・メールのお問い合わせは、下記ページにアクセスしてください。

お問い合わせ・修理をご希望をされる場合

support@thanko.jp に空メールをお送りください。 自動返信でご案内いたします。

※自動返信が来ない場合

送信前に「@thanko.jp」のメールが受信できるよう設定の上送信してください。

QR コードを読み取り、空メールを送信できます。



不具合品のご送付先

ご送付いただくだけでは対応ができない為、必ず空メールをお送りいただき、内容をご確認の上ご送付ください。

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-3-1 EL 内 サンコーサポート宛

TEL 03-3526-4328

(月~金 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 18:00 土日祝日を除く)

お問合せメールアドレス:support@thanko.jp

仕様

サイズ	幅 163x 奥行き 250x 高さ 290(mm)
重量	2.3kg
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	1200W
最大使用水量	ウォータータンク 2L / ティーサーバー 150ml
ティーサーバー容量	150ml
電源コード	1.2m
セット内容	本体、ウォータータンク、フタ、ウォータータンク台、ティーサーバー、ウォータートレイパッド、
	ウォータートレイ、コーヒー用フィルター、お茶用フィルター、電源コード、日本取扱説明書
保証期間	12 カ月

- ※内容品に記載している以外の物は付属しません。
- ※本製品をご利用において生じる物品の破損は、補償の対象外となります。
- ※本製品をご利用において生じる事故や物品の破損、ケガなど一切の責任は負わないものとします。
- ※異常を感じたらご使用をやめてカスタマーサポートまでご連絡ください。
- ※ご使用中においてのお客様の過失による故障、破損、改造等はサポート保証の対象外となります。
- ※正しく使用されない場合に生じた事故等について弊社での責任は負いかねます。
- ※製品仕様は改善のため予告なく変更する場合があり、そのため説明書記載の内容と異なる場合があります。

